

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）	Cellulose セルロース
販売者情報	会社 LECO ジャパン合同会社 住所 〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館
製造者情報	担当 SDS 担当者 電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801 会社 LECO Corporation 住所 3000 Lakeview Avenue St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	: 分類対象外または区分外
健康に対する有害性	: 分類対象外または区分外
環境に対する有害性	: 分類対象外または区分外

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	セルロース
成分および含有量(wt%)	90~100
化学式又は構造式	(C ₆ H ₁₀ O ₅) _n
官報公示整理番号	
化審法	対象外
安衛法	11-(4)-249

	PRTR 法	対象外
C A S No		9004-34-6
国連分類及び国連番号		該当しない

4. 応急措置

吸入した場合	： 新鮮な空気のある場所に移動させる。症状がひどくなる/続く場合は医師に相談する。
皮膚に付いた場合	： 石鹼と水で洗う。症状がひどくなる/続く場合は医師に相談する。
目に入った場合	： 多量の水でよく洗う。
飲み込んだ場合	： 水で口をすすぐ。症状がある場合医療機関に連絡する。
急性症状及び遅発性 症状の最も重要な兆 候症状	： ダストが気道、皮膚、眼に刺激を起こすおそれがある。
医師に対する特別な 注意事項	： 一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	入手不可
火災時の特有の危険有害性	入手不可
消火を行う者の保護	自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	十分に換気すること。ダストを吸引しない。適切な保護具を着用すること。
封じ込め及び浄化の方法及 び機材	清掃の際にダストが発生しないようにする。適切な廃棄容器に漏出物を掻き入れる、または掃除機で吸い取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストを吸入しない。取扱後はよく手を洗う。産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	製品の入っていた容器のまま保管する。乾燥した換気の良い場所に保管する。

8. 暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値	形状
セルロース (CAS 9004-34-6)	PEL	5 mg/m ³ 15 mg/m ³	吸入性粒子 トータルダスト

US. ACGIH Threshold Limit Values

成分	タイプ	値	形状
セルロース (CAS 9004-34-6)	TWA	1 0mg/m ³	

US.NIOSH : Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値	形状
セルロース (CAS 9004-34-6)	PEL	5 mg/m ³ 15 mg/m ³	吸入性粒子 トータルダスト

職業暴露限界値

設定されていない。

生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策

十分な換気を設ける。

保護具

眼/顔の保護

サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。

皮膚の保護

手

適切な耐薬品グローブを着用する。

その他

適切な保護衣を着用する。

呼吸器の保護

ダスト/ヒュームへの暴露が許容限界を超えるおそれがある場合認証済みの呼吸器を使用する。

熱的危険

必要な場合熱保護衣を着用する。

一般的な衛生事項

飲食しないこと

9. 物理的及び化学的性質

外観

物質の状態 固体

形状 繊維

色 白

臭い

なし

臭気限界

入手不可

pH

入手不可

融点・凝固点

入手不可

沸点、初留点と沸騰範囲	入手不可
引火点	入手不可
蒸発率	入手不可
燃焼性(固体、ガス)	入手不可
燃焼または爆発範囲	入手不可
燃焼範囲-下限(%)	入手不可
燃焼範囲-上限(%)	入手不可
爆発下限界(%)	入手不可
爆発上限界(%)	入手不可
蒸気圧	入手不可
蒸気密度	入手不可
相対密度	入手不可
溶解度	不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
自然発火温度(発火点)	入手不可
分解温度	入手不可
粘度	入手不可
その他の情報	
	爆発性 なし
	酸化性 なし

10. 危険性情報 (安定性・反応性)

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	有害な重合は知られていない
避けるべき条件	入手不可
混触危険物質	強酸化剤
有害な分解生成物	入手不可

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	通常の使用において健康被害は知られていない。
皮膚	通常の使用において健康被害は知られていない。
眼	通常の使用において健康被害は知られていない。
経口	経口による暴露は通常使用では発生しない

物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	ダストが気道、皮膚、目への刺激を起こすことがある。
毒物学的影響	
急性毒性	入手不可
皮膚の腐食/刺激	入手不可
重篤な眼の損傷/眼刺激	入手不可
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	この製品は IARC,ACGIH,NTP,OSHA に発がん性物質として登録されていない。
OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	分類されていない
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類されていない
吸引性呼吸器有害性	入手不可

12. 環境影響情報

生態毒性	この製品の環境有害性は分類されていない。ただし多量又は恒常的な流出による有害性を除外するものではない。
残留性/分解性	知られていない。
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響(例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性)は考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	利用できない

14. 輸送上の注意

本製品は DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

15. 適用法令

労働安全衛生法 公表化学物質 11-(4)-249

16. その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(07/14/2015) : LECO Corporation
製品安全データシートの作成指針 : 日本化学工業協会
化学品安全管理データブック(1996年) : 化学工業日報社
化学品安全管理データブック CD-ROMver.2.0 : 化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ : 化学工業日報社
化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ: 化学工業日報社

作成 : 平成 13 年 6 月 8 日

改訂 : 平成 21 年 10 月 13 日(書式改訂、法令見直し)

平成 22 年 4 月 27 日 (法令見直し)

平成 23 年 7 月 11 日 (住所変更)

平成 24 年 7 月 23 日 (P/N 記載)

平成 28 年 12 月 14 日 (書式改訂、法令見直し)

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。